

☆≡「^{えがお}笑顔😊 (smile)」☆≡

渋谷区立上原中学校第1学年

平成31年2月13日(水)第45号

～寒さが少しずつ和らいできているような。そうでもないような。日はずいぶん伸びましたね。～

気がつくとも…2月も半分過ぎました。

1月(いちがつ)は「いく(行く)月」、2月(にがつ)は「にげる(逃げる)月」、3月(さんがつ)は「さる(去る)月」と言われます。年度末の仕事を上上げる忙しさから、早く時間が過ぎていくように感じられるのでしょうか。

さて、そう思わないのんびりな人も、先週金曜日に行われた学年末考査試験範囲表の配布と学習計画表の作成から、あと半月くらいで学年末考査が行われることを認識したと思います。

この定期考査は、一年間のしめくりです。皆さんが一年生の学習をどれだけやってきたかを見ています。また、少しずつ進級への準備が始まっています。



バレンタインデー。

学校にお菓子を持ち込む日ではありません！

担任の先生や生活指導主任の伊藤先生からお話があったと思います。毎年、2月14日のバレンタインデーに学校にお菓子を持ち込む人がいます。「この日だけは特別！」という日はありません。学校生活のきまりをいろんな理由を付けて守らない人がいます。それでよいのでしょうか。

明日、こっそり(堂々と?)お菓子などの不要物を持ち込む人がいないことを信じたいと思います。

～赤ちゃんとふれあって～大葉ナナコ先生講演の感想

2月1日(金)に行われた「大切ないのちのために」大葉ナナコ先生の講演と赤ちゃんとふれあいのあと、教室に戻って思ったこと、感じたことをワークシートに書きました。コメントの一部を載せます。

・一つしかない命だから、大切に扱わないといけないな。

.....キリトリセン.....

<保護者からの一言 学年だより第45号>

1年 組 番<氏名>

- ・赤ちゃんは本能的によく考えていて、とても賢いのだと知ることが出来ました。また実際に赤ちゃんと接してみると目を合わせてみせたり、抱っこしようとしても、人見知りや、泣いてしまったりでとても難しいなと思いました。
- ・生まれてこれなかった人がたくさんいる話はびっくりしました。世界には産めなかったり、産んでもすぐにお母さんが死んでしまう話は、ショックでした。
- ・赤ちゃんとのふれあいの場では、手がとても小さかったり、足がプニプニしていてとてもかわいいなと思いました。
- ・自分自身も他の人も大切にしていきたいです。
- ・ふれあい前は心配でしたが、赤ちゃんとおふれあって、心配忘れていました。赤ちゃんかわいかった。
- ・今の生活が、奇跡と人の協力でできているんだなあと再確認できました。生きていることに意味があるんだなあと思いました。
- ・赤ちゃんを産んで親になったら、責任を持てるのか？それも心配です。
- ・保健の授業でやっていたのに、大葉先生の話聞くまで忘れていました。3秒に1人の割合で子どもが亡くなっていくのはショックです。
- ・私が生きてこられたのは、お父さんやお母さんの愛情をたくさん受けてお世話してもらってきたからなんだなあと思いました。
- ・将来自分が子育てをするときに参考になりました。
- ・今は反抗期でお母さんと話さないけれど、とっても愛されてきたんだなあと思いました。
- ・赤ちゃんがすごくかわいくてこうふんしてしまいました☺
- ・生まれる前の赤ちゃんはお母さんのおなかのなかで指しゃぶりをしているのは驚いた。
- ・いのちのバトンを渡すことには大きなリスクがあり、命がけなんだなあと思いました。
- ・ぼくには2歳半の妹がいます。今日は泣いている子を見て懐かしいと思いました。母が妹を産むところを見ました。女の人は男の人より強いと思いました。
- ・自分が抱っこしたら、赤ちゃんがすぐに泣きそうになっていたのも、赤ちゃんはとても繊細だと思いました。
- ・赤ちゃんはとても柔らかい。今度、指を握らせてみたいです。
- ・赤ちゃんはかわいい、愛しいという感情があふれてきました。親はもっと子どもを守るという気持ちを背負っているんだなあと思う。
- ・自分が生きていられるのは、放置されずかわいがってくれたおかげなんだなあ、と思いました。
- ・先祖がいるから自分がいる。そうやってなりたっているんですね。
- ・誕生日はそろそろですが、親に感謝しなくてはとおもいます。
- ・将来子どもをもったらいい子に育てたい。

😊お返事ありがとうございます😊

学年だよりの保護者の方からのお返事を掲載します。

(紙面の都合でお一人になります。申し訳ありません。他の方は次号になります。)

<第44号より>

- ・赤ちゃんとのふれあいは良い経験させていただきました。ありがとうございました。